

1 研究主題 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」
 ～新しい観点に基づく評価と指導の一体化を通して～

2 主題設定の理由

グローバル化の進展や人工知能（AI）の進化はめざましく、社会の加速度的な変化に伴い、将来の予測が難しい時代を迎えている。新学習指導要領では、学習の質を一層高める授業改善の取組を活性化することが必要とされ、児童生徒の資質・能力の育成に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めるよう示された。また、育成すべき資質・能力の三つの柱に基づいて評価をしていく。新しい観点における評価について研究を進め、評価を指導に生かしていくことで、授業改善につながると考える。

3 研究内容

①研究授業と授業研究

- ・めあてとまとめの提示（本時の学習内容を確認させ、見通しを持たせた授業の実施）
- ・振り返りシートの活用（「何を学んだか」「新たな疑問・課題」を考えさせる）
- ・ICTの活用（パワーポイント・実物投影機・デジタル教科書・Chromebookなど）

②朝学習の取組

- ・基礎基本の定着
- ・読解力の向上

③学習環境の整備

- ・教室前面の掲示物（校訓・目指す生徒像・南部かざぐるま）
- ・南部かざぐるま（忘れ物をなくそう！・時計を見て早めに行動！・大きな声で発表しよう。・話は最後まで聞こう。）

④生徒アンケートの作成・実施・分析

4 研究組織

○研究推進委員会

校長・教頭・研究主任・教務で組織し、
 研究の計画、推進について検討し確認や修正等を行う。

○全体研究会

全教職員で組織し、研究全体に関わる内容についての協議
 や共通理解の場とする。

○授業研究部

授業改善に向けての授業構想等の理論研究や指導案の書き方、
 授業研究会の持ち方等について検討し提案する。
 また、授業研究会の運営・進行等を行う。

○学習環境部

学習の場としてふさわしい環境づくりや学習意欲向上
 のための対策等について検討し提案する。
 また、生徒の実態調査を行う。

